



1月10日、110番の日にあわせて、交通安全啓発を行いました。当日は、龍河洞リュウくんが1日香美警察庁舎長に任命され、委嘱状が手渡されました。

南国警察署前および香美警察庁舎前でドライバーサービスを行い、110番の適正利用と交通安全を呼びかけました。



▲消防団員全体整列

1月12日、香美市民グラウンドで、消防団員・消防職員・関係者など約240人が参加し、香美市消防出初式が開催されました。

式典では、市長訓示に続き、団員への香美市消防表彰、人員・服装点検、機械器具点検及び分列行進が行われました。市長観閲の際には、高知県消防防災ヘリ『りょうま』が上空を旋回し、参加者は防災への決意を新たにしていました。

今年の香美市消防表彰対象者は22人と例年に比べて多く、女性団員3人が司会進行や表彰の補助などを行いました。

厚生労働大臣表彰受賞

11月5日、宮崎県のメディキット県民文化センターで香美市食生活改善推進協議会の岡山ユリ子会長が、食生活改善事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞しました。

昭和58年に協議会に入会して以来、36年間にわたり食育推進、生活習慣病予防、介護予防に力を注がれ、他の会員の模範となるべく長年にわたる活動の功績が認められたものです。これからもヘルスマイトとしてさらなる活躍が期待されています。



生きがい教室

1月15日、奥物部ふれあいプラザで物部地区公民館主催の生きがい教室が開催されました。

教室は、大柵保育園児の可愛らしい歌とダンス、大柵小学校児童の全校一体となった合奏、大柵中学校生徒の琴の演奏と合唱、物部民踊部による踊りの披露、県政出前講座『土砂災害に備えて』の講演など、盛りだくさんの内容で、お昼には大柵中学校から、ちらし寿司とゆず茶のおもてなしがあり、48人の参加者は笑顔で歓談していました。地域の子もたと大人が触れ合う貴重なイベントとなりました。



▲ダンスをする大柵保育園児達

新春の青空に大凧舞う



1月19日、物部グラウンドで、三世代交流凧揚げ大会が開催されました。

悪天候で1週間延期となりましたが、会場には凧作り教室で作った凧を手に大柵保育園児が、また、一般参加の家族、香美人権擁護委員協議会のみなさん、地元の方々と75人ほどが集まりました。子どもたちがグラウンドを力いっぱい走り、凧を空高く揚げました。昼食にはヘルスマイトの皆さんの協力で、七草がゆやぜんざいなどが振る舞われ、午後からは、昨年誕生した子どもたちの健やかな成長を願って名前を書き入れた『祝凧』や、3桁もの大きさの『千支凧』など、さまざまな凧が大空に舞いました。

ようこそ、積丹町のみなさん

1月9日から12日の3泊4日の日程で、姉妹都の北海道積丹町から、小学生6人と引率者3人が香美市を訪れました。

香美市では、フラフ作り体験や龍河洞を観光し、片地小学校の生徒と交流をしました。積丹町の子どもたちは初めは緊張していましたが、活動しているうちに緊張もほぐれ、笑顔いっぱいになりました。

子どもたちは香美市に友達ができたととても嬉しかったようで、もっと高知にいたいと言っていました。今回の訪問をきっかけに積丹町との交流が広がればと思います。



アンパンマンカップ開催

1月11日と12日の両日、県立青少年センター（香南市）を主会場に、香北体育センター・土佐山田体育館などで四国近県交歓小学生バレーボール大会『第21回アンパンマンカップ』が開催されました。

この大会は、香美市スポーツ少年団香北バレーボールクラブを中心としたアンパンマンカップ実行委員会が主催し、毎年開催しており、小学生の大会としては西日本最大の大会で、四国・中国・近畿地方から総勢178チーム、2,126人が参加し、熱戦を繰り広げました。



受章名	本部・分団	階級	氏名
功績章	本部	分団長	市川 誠
	繁藤	分団長	佐藤 栄治
精勤章	岩村	副分団長	今井 嘉男
	美良布	副分団長	武内慶二郎
	大柵	部長	森田 博之
勤続章	片地	班長	藤本 正
	片地	班長	鍵山 顕伸
	片地	団員	尾立 昌夫
	片地	団員	小松 直人
	楠目	団員	坂本 朋典
	山田	班長	常德 一倫
	山田	団員	西村 安史
	繁藤	団員	比与森巨吉
	繁藤	団員	福留 岩夫
	永野	班長	山中 威幸
	永野	団員	大和 忠司
	永野	団員	小松 申尚
	暁霞	団員	野川 博志
	日ノ御子	班長	日和佐干城
	岡ノ内	分団長	藤原 文久
岡ノ内	班長	滝口 寿和	
岡ノ内	班長	杉本 賢也	

香美市消防表彰受賞者